

離島がん医療の実際

志岐市民病院
地域医療連携室
松本泰行

長崎県壱岐市は？

- 人口:約27456人

(2014/12/1現在)

- 65歳以上:31.8%(全国平均25%)

- 医師数:44人(非常勤含まず)

(人口比:149.8/10万人)

(2009年元一々)

- 有床病院 : 6病院(約550床)

- 開業医 : 18施設

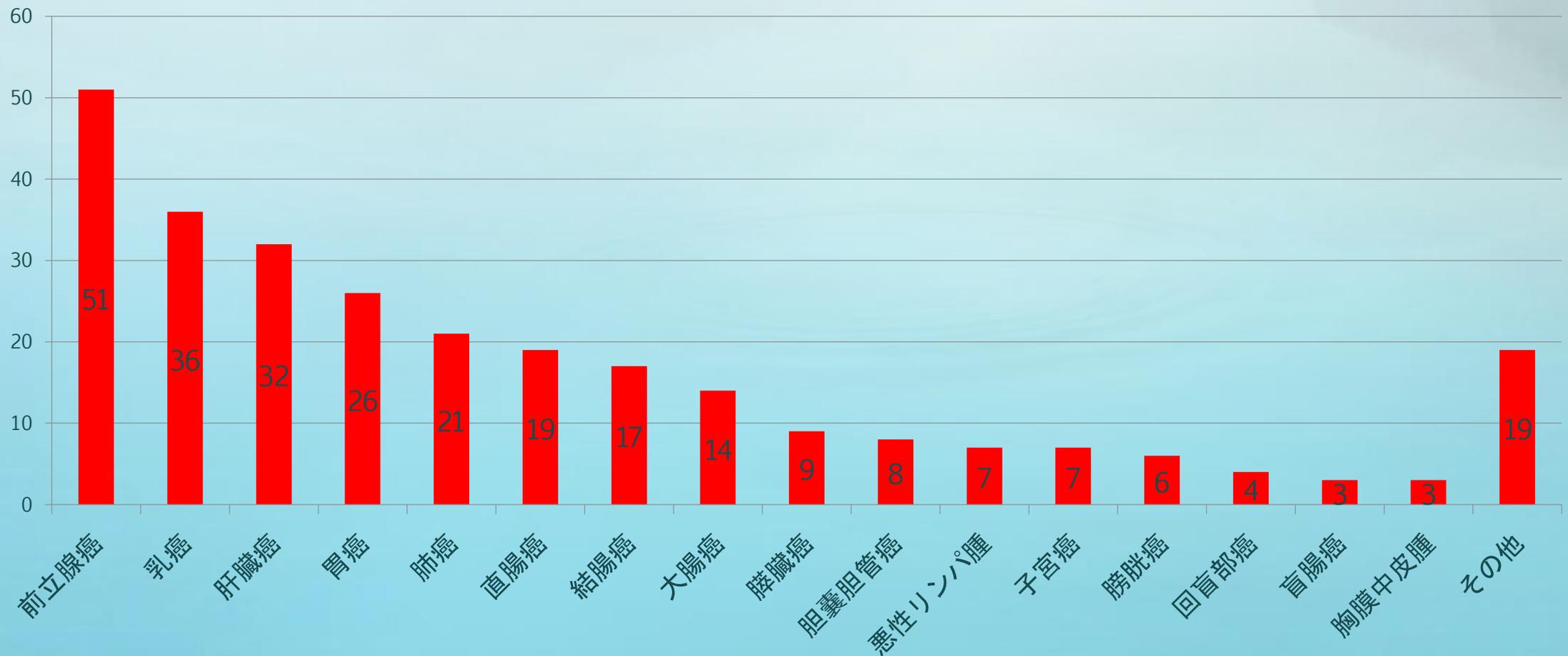
- 訪問看護 : 2施設

(2014/6/30現在)

当院の現状

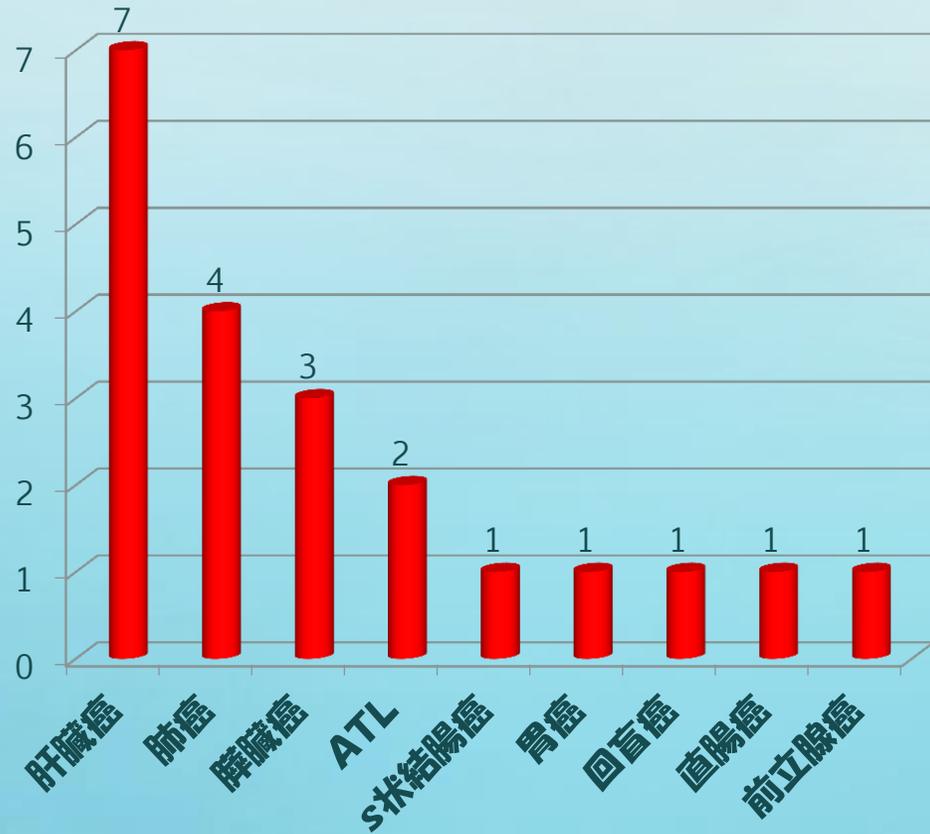
- ・ 外科的治療・放射線治療・化学療法など市外で治療を受け、術後、化学療法導入後、終末期患者等の受け入れを行なっている
- ・ がん拠点病院の標榜はあるが登録制度、相談窓口など、専門的サポート体制が整っていない
- ・ 他院とのがん連携体制ができていない
- ・ がん支援専門職員の育成ができていない
(患者支援や相談等は職員が各々対応をしている)
- ・ 抗がん剤の投与に対するルールが曖昧
(調剤、混注や投与方法等のマニュアル整備必要)
- ・ 化学療法(専門)外来がない など

がん患者総数 (n=282)

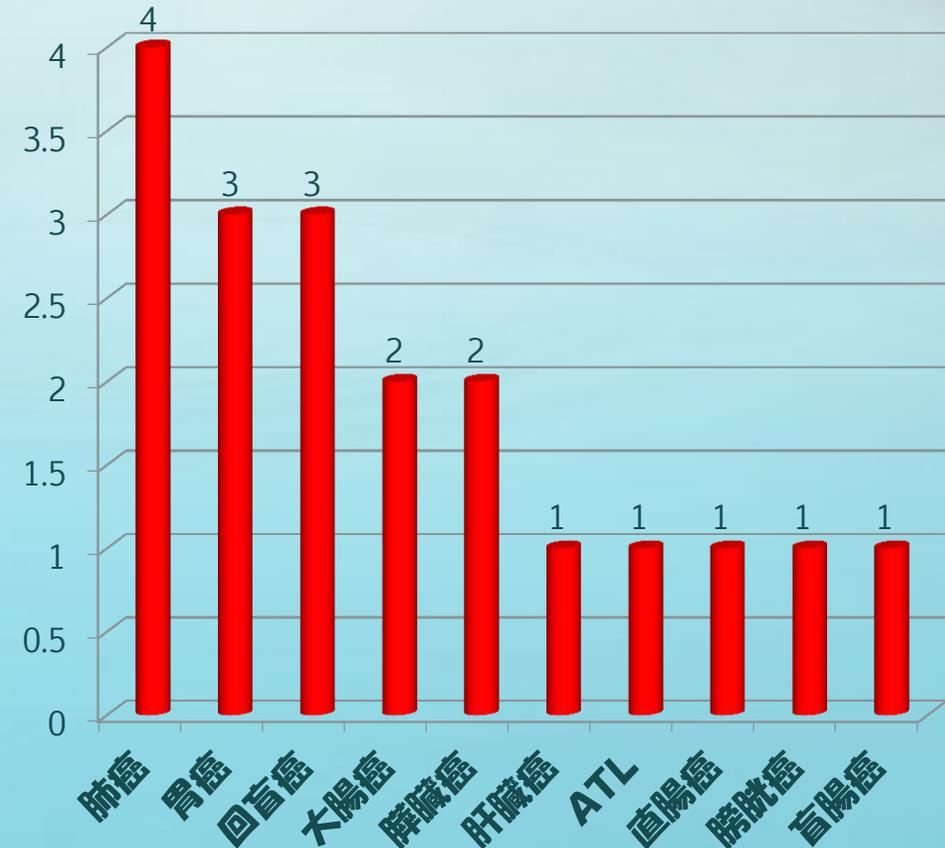


がん診断患者の転入院数 (n = 40)

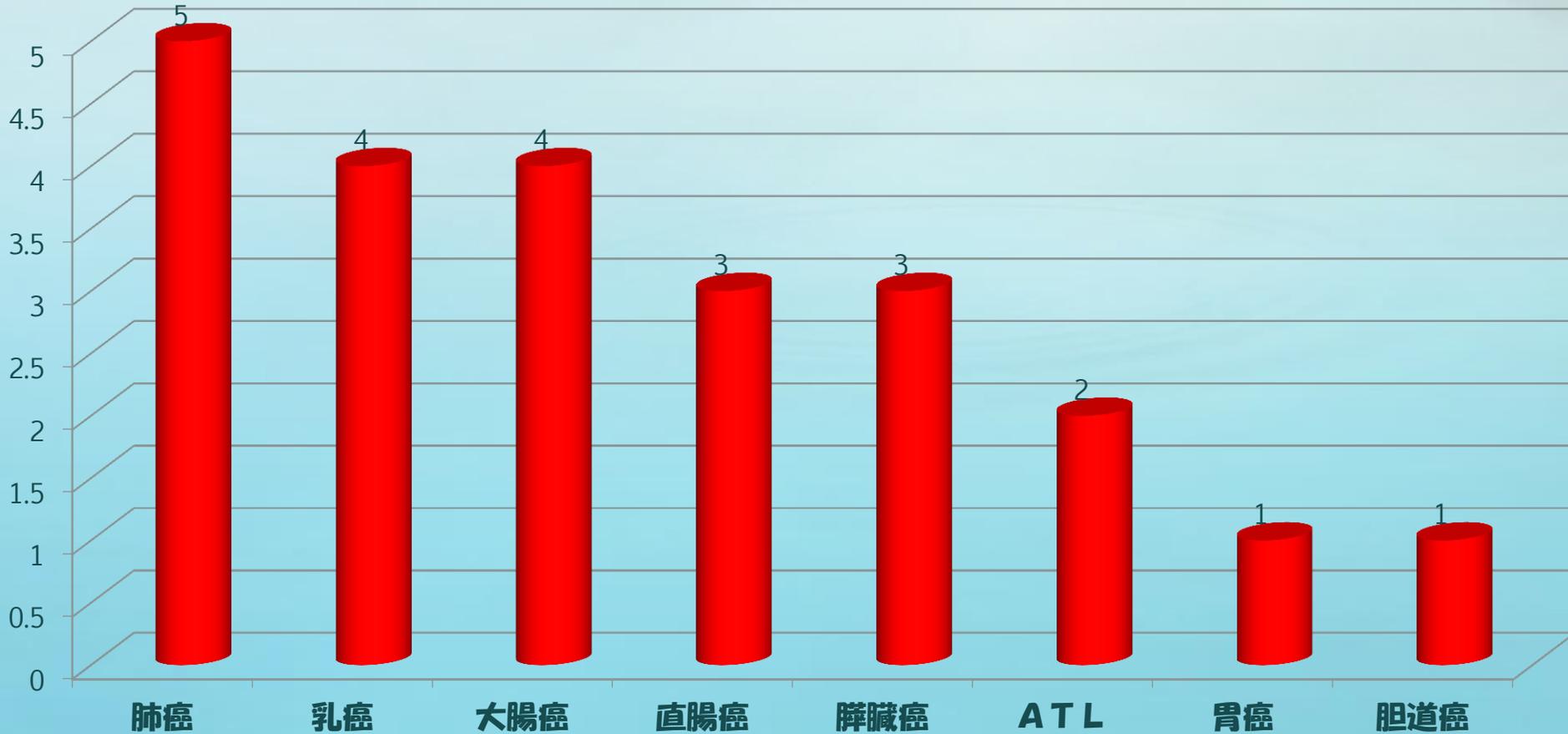
転入院 (n = 21)



転院依頼 (n = 19)

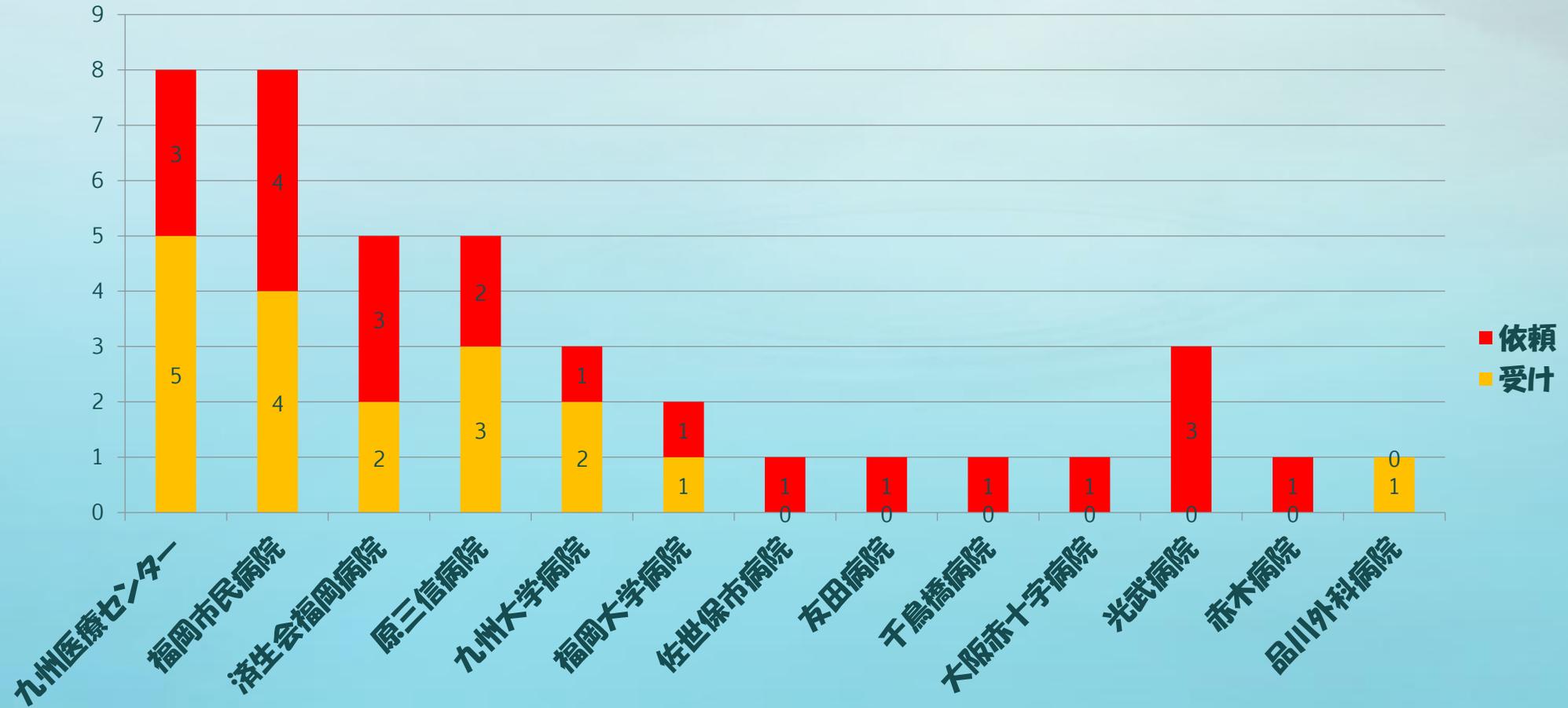


平成26年度外来化学療法患者数 ($n = 24$)



(前立腺がんは除く)₆

紹介先・紹介元病院一覧 (がんのみ)



現在の問題点

- ①外科医不在
- ②がん患者登録体制が整備されておらず
拠点病院としての役割、機能が不十分
- ③患者・家族への相談窓口、支援体制が
整っていない
- ④外来化学療法患者も一般処置室で対応
- ⑤抗がん剤ミキシングを外来処置室で行っ
ている現状

改善策

- ①4月より外科医の常勤化決定
- ②平成27年度電子カルテ導入予定
登録体制の準備、整備が可能
- ③平成27年度よりMSW1名採用
今まで以上の支援・相談体制が可能
- ④外来部門化学療法専門ブース設置予定
- ⑤薬剤部にミキシングスルームを設置し、
薬剤師によるミキシング業務開始予定